

2024年5月29日
東芝プラントシステム株式会社

分離精製剤の生産プラント受注に関するお知らせ

東芝プラントシステム株式会社（本社：神奈川県川崎市、取締役社長：小西崇夫、以下「当社」）は、このたび、東ソー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：柴田 守）の四日市事業所における分離精製剤の生産プラントを受注いたしました。

本プロジェクトは、分離精製剤の生産能力の増強および製造拠点の分散化を目的としており、当社はエンジニアリング、土木建築工事、各種機器・設備の調達、据付工事などを一括 EPCC※として担い、2026 年度に引渡し予定です。

製造工程に分離精製剤が使用されるバイオ医薬品の市場では、主力の抗体医薬品に加え、核酸医薬品、遺伝子治療薬など新たな分野が台頭し、更なる成長が見込まれています。

東ソー株式会社は、四日市事業所（三重県四日市市）に製造設備を新設することで、能力増強を行うだけでなく、製造拠点、および保管拠点の分散化により、事業継続計画(BCP)の観点からも強固な安定供給体制の構築を実現します。

当社は、国内及び東南アジア地域等において数多くのプラント建設を EPCC で手掛けており、これまで培ってきた技術・実績をもとに、最適化設計による効率的な設備をお客様にご提供しております。今回も、当社の引き合いに対する真摯な姿勢と、バリューエンジニアリング、コストダウンの提案等が評価され、本受注に結び付いたものと考えております。

当社はこれからも、強みである EPCC に、お客さま視点に立った価値を掛け合わせて、国内外の製造現場に求められる、さまざまな課題と向き合い、お客さまと共に考え、有形無形の価値を、高度な生産環境の構築実現というカタチとなるよう、推進してまいります。

※EPCC：Engineering（エンジニアリング）、Procurement（調達）、Construction（建設）、Commissioning（試運転）の略

【本件に関する問合せ先】

東芝プラントシステム株式会社

総務・広報担当

以上